特定非営利活動法人
News Letter
あい・友
第９号
2012 年 12 月

青木村産業祭 2012 に参加しました

ＮＰＯ法人あい・友は 11 月 10 日、11 日の両日、長野県青木村にある「道の駅あおき」で行われた青木村産業祭で、東京のシニアバンドによるジャズコンサートを開きました。このコンサートは、あい・友農園のある青木村への協力と地元との交流の一環として、ステージの音響や野外特設ステージの番組の一部を企画したもので、あい・友では、この日程に合わせて、東京からバスツアーを組んで、1 日目のステージを見学しました。

このバンドには、あい・友の活動に賛同したセコムのジャズ同好会に早稲田大学のＯＢや女性ボーカルが加わった 13 人のバンドで、ボサノバナンバーやジャズのスタンダードなど親しみやすいナンバーを中心に、1 時間ほどのステージを 2 日にわたって披露しました。ステージには、青木村村長も顔を見せ、楽しそうにステージを眺めていました。

あい・友は、昨年夏、青木村でチャリティーコンサート「青木村義民太鼓と一人芝居」を開催しましたが、今年は、同村が産業振興で力を注ぐ第 11 回の産業祭に協賛団体として参加し、ステージでの盛り上げに協力しました。産業祭では地元の農産物・特産品の販売や食品の屋台が数十軒立ち並び、地元や周辺地域から 2000 人の人たちが集まりました。また、青木村産の品種「タチアカネ」のそば粉を使った手打ちそばによるそば祭が同時開催され、あい・友のバスツアーのメンバーやジャズバンドも濃厚な信州そばに舌鼓を打ちました。

▼青木村産業祭 2012 の広告

青木村産業祭 2012 でのジャズコンサート

11 月 10 日、11 日の 2 日間行われた青木村産業祭では、長野県青木村の道の駅で、ＳＪＣシニアＯＢバンドのジャズコンサートが開催されました。この産業祭は、青木村の農林業、商工業、観光などを村民に理解してもらうとともに村外にもアピールするため、地元生産物などを展示即売する催し。コンサートが行われた特設ステージは特産品ブースや食べ物屋台が並ぶ駐車場の一角に設えられました。

演奏は、1 日目が午後 1 時から 2 時まで。2 日目は午前 10 時から 11 時までの 2 ステージ。演奏曲は、「イパネマの娘」「枯葉」「イエスタデー」「Ａ列車で行こう」など馴染みやすい曲が 1 ステージで 8 曲程度演奏されました。演奏が始まると 200 席ほどの観客席はたちまち人が集まり、心地よい秋日和のもと、都会のサウンドが田園に鳴り響きました。観客は屋台の焼きそばを食べながら、あるいはビールを飲みながら、膝の上で子供をあやしながら、など、皆思い思いのスタイルでジャズを楽しんでいました。

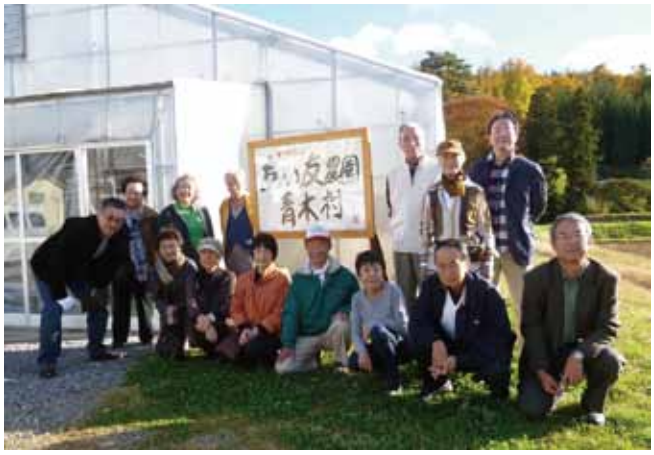
このバンドは、あい・友の支援者であるセコムと早稲田大学ＯＢが産業祭のために特別に編成したバンドで、今回はノーギャラで公演を引き受けてくれました。また、村からは村長のご好意で、青木村地域文化センターの宿泊所が提供され、昼には、特産の手打ちそばまでが振る舞われました。

特設ステージでは、ジャズバンドのほか長野県出身の演歌歌手のライブや外国人アーティストのライブも行われましたが、2 日間のステージの音響をあい・友が担当しました。特設ステージは青木村とあい・友の協働による初めての試みであり、役場の関係者の方も「これからもますます楽しいイベントにして盛り上げていきたい」と話していました。

岩崎加根子さんが青木村で詩の朗読を行いました

11 月 3 日、青木村では、青木村義民太鼓保存会 30 周年記念大会（青木村総合文化祭）が開催されました。これに、ＮＰＯあい・友の代表として、岩崎加根子さんが参加し、お祝いの言葉とともに、谷川俊太郎作「生きる」の朗読をしました。出席した村長も説得力のある朗読に感激で目を潤ませていました。あい・友は昨年、青木村義民太鼓保存会などを招いてチャリティーコンサートを開催しており、翌週開催された青木村の青木村産業祭の後援団体となっています。

あい・友のバスツアーが実施されました

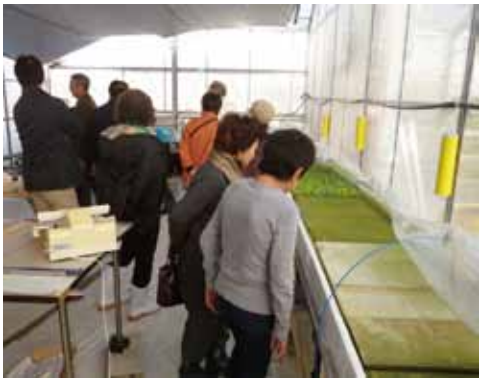


▲大久保農園長と農園前で

あい・友農園の見学と青木村との共催で実現したジャズイベントに参加するあい・友バスツアーが 11 月 10 日、11 日の日程で開かれました。参加者は、会員など 15 人で、東京・新宿駅西口を出発し、青木村道の駅で開かれている青木村産業祭に参加しました。

数多くの屋台が並ぶ中、特設野外ステージでは、東京のＳＪＣシニアＯＢバンドが楽しげなジャズの音を響かせ、ツアー参加者は 1 時間ほどの生演奏を楽しみました。そのあと、青木村の農家から地元産のそば粉を使った手打ちそばが振る舞われ、青木村の味覚を存分に味わうとともに、村長からの地元産ワインをいただきました。次の目的地のあい･友農園のハウスでは、農園関係者から説明を受けるとともに、サンチュの栽培の様子を見学し、その場で採って試食を行いました。その夜は、佐久市の望月温泉に宿泊。次の日は、山梨のワイナリーなどを見学して、新宿に戻りました。

農園だより



あい・友農園では、道の駅あおきの売店でも特産のサンチュを販売しています。11 月 10 日、11 日は青木村産業祭が開催され、会場は大勢の人でにぎわいました。東京、大阪からはあい・友のツアーで 15 名が参加しましたが、ハウス工場のほうにご案内し、私たちの取り組みについて説明をいたしました。

まず、ハウスの建屋の特徴、設備については、外回りの設備として、特徴のあるエコ・ハウスを実現するため、屋根や壁のシートが二重構造になっていて、空気層が断熱効果を発揮し、夏や冬の冷暖房経費を軽減しているところを見てもらいました。また、外気を地下に埋め込んだダクト内を通過させ、ハウス内に空気を導入することで、外気温を年中一定にしていること、その導入する空気の浄化のために『イオンクラスター』で除菌・除臭をしていること、イオンクラスター発生器の電源を太陽光発電装置により賄っていることなどについて解説しました。

さらに、ハウス内の設備については、種まき、発芽棚、育苗棚、栽培棚とサンチュの成長に合わせて最適に管理していること、液肥水槽は 5 トンもあり、常時、液肥の温度や濃度や PH などを最適値に維持管理していること、日照量を遮光シートで調節し、炭酸同化作用を最適化していること等々、新鮮で高品質なサンチュを栽培するための様々な工夫について説明をしました。

太陽光発電パネルと電源ボックスのシステム　発生電力 200W　電圧 AC100V ▶

NPO のツアーと通常の観光ツアー

ＮＰＯ法人あい・友では、障がい者・高齢者の暮らしやすい社会を目指し、1 年を通していろいろな活動及び支援活動をしていますが、その中で、会員をはじめ団体の趣旨賛同者を対象にしたツアーを年 1 回実施しています。これは、あい・友が活動している現場をより多くの人に見ていただき、また実際に体験していただくことで、NPO の活動をより深く理解していただくためです。

ここ数年は、株式会社エフ・イー・シーと共同運営している長野県青木村のあい・友農園を拠点にして、青木村役場の協力を得ながら、私たちの NPO と農園関係者、障がい者、地元住民との交流を中心に、会員同士の親睦も含めたツアーを開催してきました。

このように、あい・友ツアーの目的は、観光地やリゾート地を訪れる通常の観光ツアーとは全く異なった意図のもとに体験的なアクティビティーを実施しています。ただ、アクティビティーといっても訪問地で、直接作業するワークはありませんし、体力的に負担をかける活動もないので、体力に自信がなく、高齢な方でも安心して参加できるツアーです。

このツアーも今回で 3 回目になりましたが、ともすれば、回数を重ねるごとにこうした目的意識が徐々に薄れがちになっていることも否めない事実であります。来年はいよいよ 6 周年になりますが、最初の趣旨を忘れずに、さらにイベント・ツアーの内容を工夫し、交流の機会の拡大につなげていかなければならないと強く感じています。

（理事長　前田久美子）

◀あい・友農園の設備の説明を受けるメンバー

事務局だより

11 月の青木村産業祭 2012 では、バンドのメンバーの方はもちろん、青木村村長をはじめ、青木村役場の方々のご協力のもと、ジャズコンサートを開催することが出来ました。農園のある青木村で、あい・友のことを少しでも多くの方に知っていただける機会を設けることができ、嬉しく思っております。あい･友の名前は知っていても、どういった活動をしているかよく分からない、という方のためにも、今後もニュースレターや HP にて情報発信してまいりたいと思います。

■新年会のお知らせ

今年も残すところ僅かとなりました。あい・友では、来年 2013 年 1 月 31 日 (木) の 18 時から、東京本部にて新年会を開催予定です。その年の活動予定のご案内や、会員同士の親睦を深めるために、毎年開催しているものです。詳細は、別紙でご案内いたしますので、ぜひご参加ください。

発行日：2012 年 12 月 10 日
発行者：特定非営利活動法人あい・友
本部：〒151-0063　東京都渋谷区富ヶ谷 1-38-5
TEL：03-3485-1793 ／ FAX：03-3469-5312
支部：大阪市北区東天満 2-10-24 ／ TEL：06-6357-8481
発行責任者：豊村泰彦

あい・友のメンバーになりませんか？
お申し込みは、事務局まで
TEL：03-3485-1793
mail：jimukyoku@aiyuu.org